

～各種情報～

●保護者会「定例会」報告

10月12日（水）～14日（金）に今年度2回目となる保護者会定例会が事業毎に開催され、延べ42名の方が参加されました。あかね園からは写真や動画を交えた上半期の活動報告を中心に、各事業の特色に合わせた内容を盛り込みました。

自立訓練事業では作業活動の見学や今年度からスタートしたイケア班の紹介、就職に向けた支援プログラムや就労移行支援への事業変更のタイミングについて等々説明をし、自立訓練事業の時代に生活面を整えておくことが大切であると確認させて頂きました。

移行移行支援事業では、上半期の就職に関する実績報告と就労までのプロセスをお伝えし、質疑応答にて情報の整理と共有、理解を深める機会となりました。

就労継続支援B型事業は3班合同で開催。久しぶりに保護者同士が顔を合わせ、最近の様子や心配事について語りあう時間が持てました。新たに立ち上げ軌道に乗ったSGL南船橋センターの紹介や工賃向上に向けた取り組みについても説明をしています。

コロナ時代の中、保護者と職員、保護者同士が顔を合わせ、情報交換や情報整理、共有が出来るこの定例会は貴重な機会となっています。（高師）

●就労者親の会「研修会」報告

11月18日（金）にプラッツ習志野にて就労者親の会の研修会が行われ、就業・生活支援センターの職員も参加させていただきました。

親の会会員54名の参加があり「あかね園とつながり、仲間とつながる」をテーマに、前半は保護者が3部屋に分かれ近況報告や情報交換を行いました。コロナ禍の中では久しぶりに参加保護者どうしが直接話す機会を持つことができ、且つ役員の方々が進行を担うことで忌憚のないやり取りがなされていました。

後半は前半のディスカッションで出たテーマを元に、支援センター職員よりコメントや近似事例の支援内容等の共有をさせていただきました。

長期就労継続は喜ばしいことですが、その一方、徐々にそれを生活面で支える保護者の方の高齢化が進んでおり、「生活面の自立」「健康管理」「金銭管理」「グループホーム」というキーワードに加え、「親亡き後」を心配する声が多く聞かれました。

支援センターとして、今後ご本人、ご家庭からの支援のニーズになるべくタイムリーに、そして適切に対応していきたいと思っております。（近藤）

あかねの集い

第175号
令和 5年 2月28日
発行者
社会福祉法人あひるの会 あかね園
〒275-0024
千葉県習志野市茜浜3-4-5
TEL 047-452-2715
<https://akaneen.com/>

～ 行事の再開、Withコロナ生活も最終段階へ ～

あかね園統括施設長 松尾 公平

2020年2月。国内でも新型コロナウイルスの感染拡大が進み脅威が身近に迫る中、あかね園においても全行事の当面の中止を判断致しました。

その後、県内の感染者数や園の状況等を鑑みながら行事の再開を試みてきましたが、感染防止を最優先とする中では、「みんな（集団）で」「足を延ばして（遠方へ）」「美味しいものを（食事）」「ゆったりと（長時間）」といった感染リスクの高い要素は回避を余儀なくされてきました。園としてはこの状況下での制約多き行事の再開に満足してもらるか不安でしたが、コロナ禍で私生活でも我慢の多い生活を強いられている園生や卒園生達にとっては、ちょっとした行事でも「楽しかったー」「次はいつ？」という声を聞くことが出来、私たちが救われました。

この2月であかね園での感染対策が本格化し、ちょうど3年が経過します。新型コロナウイルスとの共存はまだまだ続くと思われる一方で、5月からは医療的（感染症法2類→5類）な扱いが大きく見直され、いよいよ「Withコロナ生活」のスタイルも最終形（段階）へと向かう中、あかね園の「行事」も新しいかたちへと見直すタイミングとなります。

行事は本人にとっての「楽しみ（リフレッシュ）」の目的だけではなく、普段とは異なる環境（場所、人、時間、内容、雰囲気等）での体験、経験は「挑戦（新たな出会い、選択肢の増）」や「学び」の場として、また日頃のあかね園や家庭生活での取り組みの成果や現状把握等の「確認（成長や成果、課題等）」の場という意味でも大変重要な取り組みです。今号では改めて行事の意味や目的をお伝えしながら、ようやく再開の運びとなった今年度の各行事のご報告をいたします。

●就労定着支援事業「保護者研修・懇談会」報告

就職した直後を支える本事業では、卒園後の本人を支える家庭との連携が必要不可欠であり、今年度は2回親御さんとの対面の機会を設けさせていただきました。

第一回は6月17日（金）の午後に開催。冒頭、施設長より「新たな『成長』や『課題』と向き合いながら」というテーマで、長く働いていく上での家庭の危機感と安心感について講話がありました。その後、参加者から感想や現状を一言ずつ発信いただき、最後にオブザーバー参加して下さった就労者親の会の役員4名のコメントで会を締め括りました。

第二回は12月2日（金）。あかね園から就職した方々が使える各種サービスについて情報提供を行いました。半数が初参加の保護者だったので、後半はグループ別に施設長の講話とグループワークで進行了しました。

就職後の3年半は、家庭にとっても新しい生活に慣れたり親子関係が更新されたりする期間なので、不安の軽減や長く働き・暮らすための土台を強固にする意味でも、今後も定期的にこのような会を開催していきたいと思っております。（中）

《新人職員紹介》

★千葉有紗（配属：就労移行支援事業）

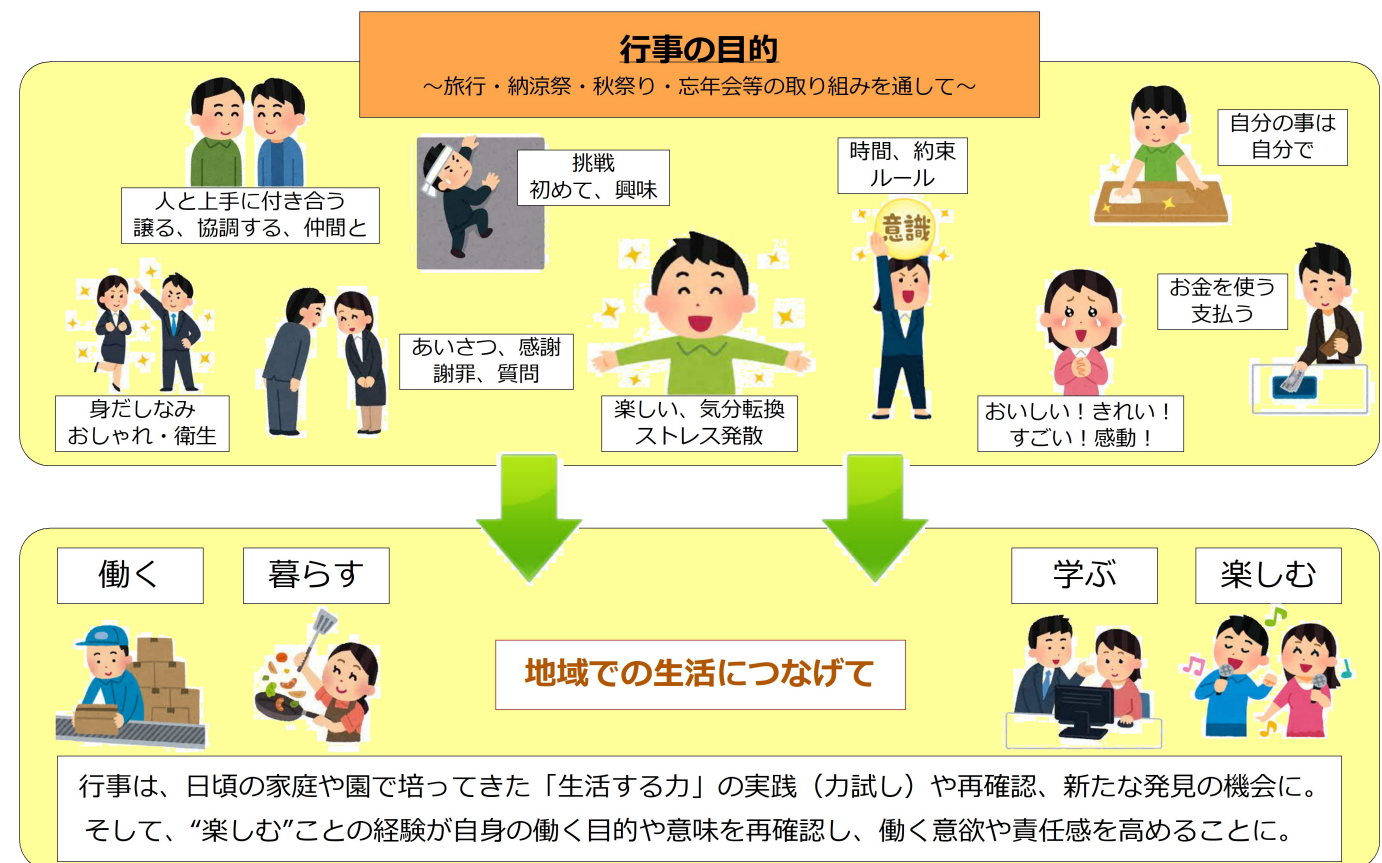
人と人とのつながりを大切にしているあかね園へ入職できたこと、大変嬉しく思います。就労移行では、日々の作業を通して社会人として相応しい態度や、就職に向けた支援をしております。

「あかね園に来て良かった！」と利用者・保護者の方に思っただけのような支援ができればと思っております。至らぬ点もあるかと思いますが、利用者の方と共に成長していきたいです。

★藤田しほり（配属：就労継続支援B型事業）

初めて施設見学をさせていただいた際に利用者の方々の元気な挨拶に感銘を受け、ここで働きたいと思いました。就職して、日々利用者の方に学ばせていただきながら自分自身の成長に繋げております。働くことの楽しさや、やりがいを感じていただけるよう頑張ります。

また、利用者の方の思いを想像する力と、それを支える感性を磨き上げたいと思っております。



令和4年度 あかね園【行事・企画事】報告

納涼祭

山の日である8月11日(木)、昨年度同様コロナ禍の状況を踏まえ、利用者への参加とし、事業毎に25名規模の小グループで開催しました。時間(午前/午後)と会場(本場/第2作業場)を入替制にし、利用者・職員合計129名が参加しました。日頃の労をねぎらうことを目的に、ブース別にテーマを設けたゲームを楽しみ、また厨房特製のパイナップルの器で彩られた豪華なかき氷や、キッチンカーの食事に笑顔の絶えない一日となりました。(迫)



旅行

従来の宿泊を伴う旅行は叶いませんでしたが、3年ぶりに開催することができました。非日常の体験(経験の幅を広げる)、団体行動や公共のルール・マナーの確認と実践、利用者・職員間の結束を強める、日々の作業の労い等、様々な目的から事業毎に特色を打出した日帰り旅行となりました。久しぶりに参加した方も、(学校時代も含めて)初めて参加(経験)した方も、園外にて楽しみを味わうと共に学びを深めました。職員としては、利用者さんの新たな一面に触れられる大変貴重な機会となりました。

【移行：11月18日(金) 千葉県君津・木更津方面
利用者28名・職員8名】
観光バス2台を貸し切り、2グループに分かれて実施しました。陶芸体験では、好きな形や模様を選びながらお皿を作り、個性溢れる作品が出来上がりました。鋸山散策では晴天の下、頂上から見た景色は本当に素晴らしかったです。写真を撮ったり、思いっきり深呼吸をしたり、一息ついたり等々、各々の楽しみ方で良いリフレッシュになったと思います。(小野)



【自立：11月22日(火) 横浜・八景島シーパラダイス
利用者24名・職員9名】
グループ毎に海の動物たちのショーや、大水槽で暮らす様々な生きものを見ました。体験型プログラムでは、自分達で釣った魚をフライで食べ、昼食は隣接するホテルで豪華なフレンチのコース料理を楽しみました。初めて魚を触ったり命の大切さを学んだり、仲間と過ごしながらかれまで以上に親睦が深まったと思います。(鈴木)



【継続：11月22日(火)、11月28日(月)
西武園ゆうえんち 利用者30名・職員12名】
外班、本場班と分かれて実施しました。事前の打ち合わせから「このアトラクションに乗りたい」「美味しいデザートを食べたい!」等、胸を躍らせて当日を迎えました。今年度は各班共繁忙状況が続いたので、息抜きと働く意欲の向上に繋がったと感じます。早速、「次はどこに行きますか?」の声が聞かれています。(本吉)



忘年会

事業毎の開催とし、ホテルスプリングスを会場に、豪華な食事を楽しんでから各々の事業で企画したイベントを行いました。一年間を振り返り、来年に向けて気持ちを新たにしました。

【自立：12月13日(火)、利用者24名・職員9名】
たくさんの写真を見ながら一年間を振り返り、後半には豪華景品をかけたクイズ大会を行いました。食事では、始めはコース料理に緊張していましたが、日帰り旅行の経験が役立ちゆっくり楽しむことができました。(澤田)

【移行：12月14日(水)、利用者28名・職員10名】
メインイベントは「1年間を振り返るビンゴゲーム」でした。企業実習、作業、余暇、行事等、様々な写真をマスにしました。会場の大スクリーンに自分の写真が登場する度に盛り上がり、思い出や感想をその場で述べていただきました。(伊藤た)

【継続：12月15日(木)、利用者32名・職員11名】
久しぶりに全員が集まり、利用者主体で各班の活動報告を行いました。数名の代表者より「忙しかった作業、楽しかったイベント」等を画像や動画に沿って説明いただき、最後はビンゴゲームで仲間と楽しい時間を過ごしました。(本吉)



Ref企画

3年前、コロナ禍で生まれたあかね園の新しい取り組み、「リフレッシュ企画」。ちょっとした時間に、気軽に、気分転換。その一部をご紹介します。

【移行：7月28日(木)、8月5日(金)】
2日間に分かれ、全28名を対象に実施しました。余暇プログラムで使う教材(例：クロスワード、点繋ぎ等)を自分で購入することを目的に、グループ毎に近隣のショッピングモールへ赴きました。購入した物を互いに見せ合いながら感想を語っており、月毎の取り組みにて活用しました。(伊藤さ)

【継続：10月5日(水)、10月7日(金)】
班毎に三井ガーデンホテル千葉にて開催しました。ツバティ村田氏を講師にお招きしてフラワーアレンジメントを楽しみ、その後、ホテル内「汐菜」にて豪華なランチを満喫しました。新しい会場でたくさんの笑顔が見られました。(本吉)

【自立：年度末にかけて、一日外出を企画中!】

成人を祝う会

今年度の成人を祝う会は、1月13日(金)に開催され、8名の方が成人を迎えました。該当する事業の職員中心に、門出をお祝いしました。



当日は天候にも恵まれ、新成人とその保護者に参列いただきました。本番前から、口数が少なく緊張していた新成人でしたが、会が始まると引き締まった表情に変わりました。施設長挨拶・利用者代表による祝辞・両親への感謝の気持ちと抱負の発表・新成人の活動記録(動画)の上映・記念品贈呈、写真撮影等の順で進行し、両親へは事前に一人ひとりが時間をかけて考えた手紙を朗読しました。成長した姿を見て保護者・職員共に感動する場面も見られました。会を通して、新成人が成人としての自覚や責任を確認する機会となりました。(佐々木)



以下、卒園生(就労者)

秋の慰労会

あかね園から就職した方の集まりである「ふれあい会」も従来通りの企画が数年開催できず、この度久しぶりに一定規模の集いを10月7日(金)、8日(土)に行いました。両日合わせて総勢83名の参加がありました。

一日目は屋内(第二作業場)で各種ゲームに興じ、全員参加のじゃんけん大会で商品をゲット、ほくほく顔でした。全員参加のプレゼント(焼き菓子セット)もお持ち帰りいただきました。二日目は屋外で(京葉測量(株)さんの駐車場)、開放的な環境でゴルフや輪投げ等のゲームを自由に楽しんでいただきました。食事はキッチンカーで干菜らぁ麺さんが来てくださり、懐かしのメニューや店員さんに会話の花が咲いていました。(古内)



在職者交流会

プラッツ習志野(京成大久保駅)の集会室を会場に、“できる時に”何回か開催することができました。感染対策の観点から、少人数毎に部屋を分け、センター職員が進行しながら自己紹介(仕事内容や仕事で大変なこと、やりがい等)に加え、近況の聞き取りを行っています。今年度は久しぶりに事前の申込みなく参加可能とし、コロナ前では当たり前だった、「ちょっと顔を出しに行こうかな」という気軽さにほんの少しではありますが近づくと感じています。



なお、ウェブ交流会も随時開催中です(写真右)。お問合せはあかね園支援センターまで♪(近藤)